

IF EVER I SEE  
YOU AGAIN



もう12年になる。

ほんとうならジュニアファア、12年の歳月は

きみへの想いを断ちきるのに十分な時間だ。

きみに夢中だったとき、

僕は歌をつくった。

捧げる歌だ。

は聴かずにぼ

去った。その

をぼくはよく

おぼえている。ぼくが「おやすみ」

と言ったのに、きみは「さよなら」と

いった。

雪の日のあつけない

い別れ



だった。

12年が過ぎて

ぼくらは再び

逢った。そしていま

ぼくは

して

突然

帰ってし

そうだ、あの

のように、きみを愛しているんだ。

ぼくはもう「おやすみ」とは言わない――。



ときの学生時代

まったから。

12年前のぼくに

しまう。

自分をもてあま

し

12年前のぼくに

まったから。

12年前のぼくに



きみに

でも君

くから

日のこと

# わが心のジュニアファア



ジョー・ブルックス+シェリー・ハック

監督・製作ジョー・ブルックス/音楽・作詞・作曲ジョー・ブルックス/撮影アダム・ホルンダー<カラー作品>

日本ヘラルド映画/アメリカ映画  原作 ヘラルド出版映画文庫



# わが心のジエニファ

IF EVER I SEE YOU AGAIN  カラー作品/アメリカ映画/日本ヘラルド映画

未婚だろうと、既婚だろうと関係ない。

恋に憧れる気分はどんな人でも同じはずだ。恋に憧れ、恋に恋し、恋を夢みる——それは人間が生きていることの、いちばん素敵な証(あかし)かもしれない。

「わが心のジエニファ」は、そんなロマンティックな気もちを持つている人なら、必らず満足するに違いない美しいラブ・ストーリーである。

とりわけ、ロマンチストである男ならばもうなおさらのこと。まぶたの熱き涙をどうすることもできないはずだ——。

\*\*\*\*\*

ぼくが「おやすみ」といったのに、きみは「さよなら」といった——。

さりげなく、なにげなく、これがボブとジエニファのコレッジの訣(わけ)れ。

雪の日の橋の上。

それから12年の歳月が流れた。

ボブは今や、おしもおされもしない、テレビ・コマーシャル音楽の第一人者である。

彼は「CM界のモーツァルト」と呼ばれていた。しかしそんな彼も悩みはつきない。

仕事のこと——神経を擦り減らす毎日で、こんなこといいのかわかっている。大学の同期の友人が、カーネギーホールでコンサートを開くときけば、心はメチャクチャに乱れる。



### 全篇に流れる名曲の数々

IF EVER I SEE YOU AGAIN いつかあなたと

唄: デビー・ブーン/ジェミー・カーン

CALIFORNIA カリフォルニア

ザ・ビッグ・ヒル・シンガーズ

SOMETHING TO SELL サムシング・フォー・セール

唄: ビル・ディーン

COME SHARE MY LOVE 愛は二人で

唄: デビー・ブーン

WHEN IT'S OVER 終りの時

唄: ジェミー・カー

家庭のこと——妻とは別れて、幼い子ども2人抱えたやもめ暮し。メイドから「男親が母親の役割を果たすのは大変なことです。でもあなたはそれを完璧にこなしています」と言われても子どもには母親が必要ではないかと思っている。といて、すぐに行動に移るわけではない。

その彼が、映画の仕事でロスへ行つたときジエニファがLA郊外で画家として暮らしていることを知る。

おすくとした再会。

ともに30代を迎えた男と女。多少の人生経験もある。

縫(ぬい)た糸がほぐれていくように、二人は今度こそ結ばれてもいいはずだが——。少なくとも観客はそう思う。しかしジエニファはまたボブから遠ざかろうとする。ボブの愛を知りながら、それに応える自信がないのだ。女

性観客ならヒロインの心情にぐっと傾いていくところ。

でもドラマは実にハッピーなエンディングを迎えそう……。

久びさに気もちのよい女性映画がここにある。

\*\*\*\*\*

「マイ・ソング」で製作・監督・脚本・作曲とスーパーマンぶりを発揮したジョー・ブルツクスの第二作。ジョー自身が現実に、アメリカで有名なCM作曲者なのだ。その彼が今回は主演までして実にいい感じを出している。そして相手役は新人、シェリー・ハック。「チャリース・エンジェル」に新顔として登場した彼女は、モデルあがりのスラリとしたプロポーションと、なんともいえない笑顔の「美しさ」がチャーム・ポイント。

ナウい美女なのである。メガネもよろしい。音楽はデビー・ブーンを始めとするステキなサウンドがびっしり。(1時間45分)



## 4月上旬より愛と感動のロードショー!

町楽有 前所 **スバル座** (212) 2826